

特集

進んでいるのかな?男女共同参画

～過去のWingと比べて～

●男女共同参画って何?

性別に関係なく、みんなが相手のことを思いやり、相手が自分と違うということをお互いに理解し合い、協力し合うことで、いろいろなことにチャレンジでき、個性や能力を生かして、自分らしく生き生きと暮らせる社会を目指す考え方です。



同じチャンスを持つこと

女の子も男の子も同じように夢を追いかけたり、好きなことを学んだりできるようにすることが大切です。例えば、女の子もスポーツが上手になれるチャンスがあるし、男の子も料理が上手になれるチャンスがあるということです。



差別をなくし、お互いを尊重すること

みんながそれぞれ違う個性を持っています。男女共同参画では、女性も男性もお互いの違いを認めて、尊重することが大事だと考えています。つまり、性別に関係なく、相手の意見ややりたいことを理解し合うことを大切にします。



家庭でも社会でも協力し合うこと

家庭や社会では、女性も男性も協力して活動することが重要です。例えば、家の手伝いをみんなで分け合ったり、学校や地域の活動を一緒に頑張ったりすることです。これによって、みんなが幸せに暮らすことができます。



女性の役割、男性の役割がそれぞれ決まっているわけではないこと

「これは女性に、あれは男性に向いている仕事だ／科目だ」などと、女性と男性でそれぞれ役割が決まっているわけではありません。自分が将来本当にやってみたい仕事や勉強などがあるなら、男女の区別なく自由に選んでよいのです。



いわき市の男女共同参画って進んでるの?

過去のWingの記事を参考に男女の家庭内の役割や社会進出などにどのような変化があったか見ていきましょう。



43号

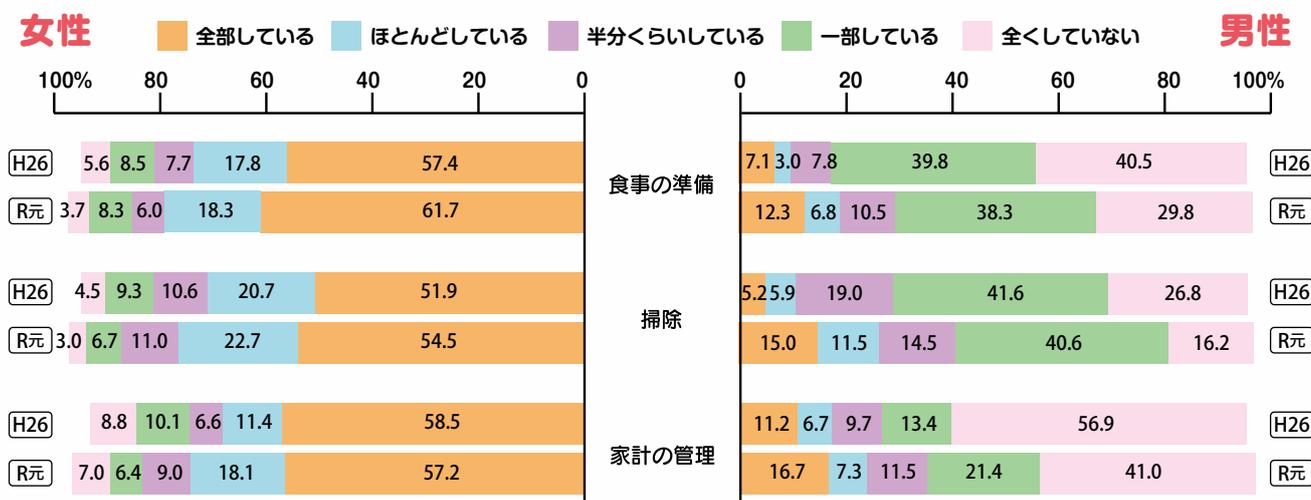
みんなで再確認！ 男女共同参画してるかな？

Wing43号 (2015年10月発行) で取り上げた家庭における役割分担のグラフを最新の調査結果と見比べてみましょう！



※上段：平成26年いわき市
男女共同参画市民意識調査
※下段：令和元年いわき市
男女共同参画市民意識調査

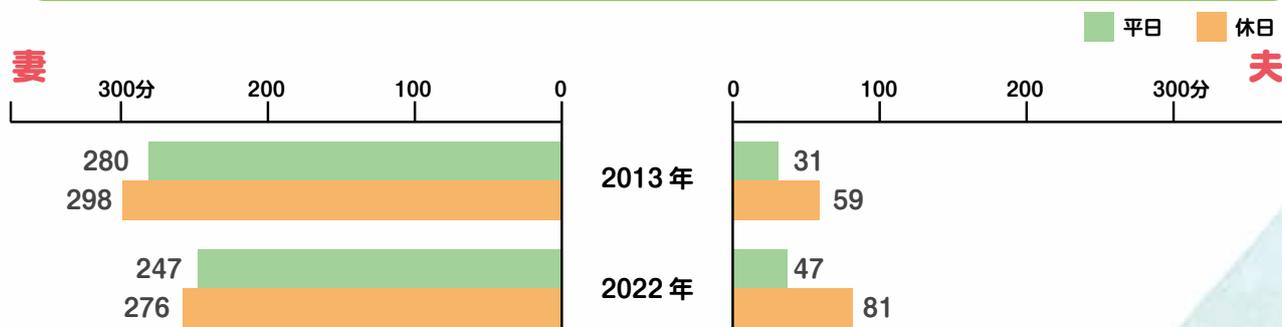
家庭における役割分担を見てみよう



男性の「全くしていない」の割合が減少し、家事をしている割合が増えてきていることがわかります。

国の研究所の統計を見てみよう

国立社会保障・人口問題研究所の「全国家庭動向調査」における妻と夫の家事時間の調査結果



夫の家事労働時間も増えてきてますが、妻の家事時間と比較すると、3時間以上女性の方が多く負担してる事がわかります。

男女共同参画をさらに進めるためには、家庭内における男性の家事負担割合を高くしていく必要があります。そのためにはどのようにしたらいいのか考えてみましょう。

[次ページへ](#)